



他人事ではすまされない 日本の貧困・格差の現状

開催日 2014年1月18日(土) 10:00~13:00
会場 東京都生協連会館 3階
講師 今野晴貴さん NPO 法人 POSSE (ポッセ) 代表
参加人数 42名
主催 東京都生協連消費者行政連絡会



司会
コープみらい理事
井上 深雪さん

第1部 講演「労働相談現場から—ブラック企業に負けない」

ブラック企業とは

語源：IT 技術者が、2000 年代半ばにネットスラングとして使い始め、映画、小説などになり、2010 年ごろから就職活動生によって広がった。



今野 晴貴さん

非正規ではなく、正社員の労働条件が劣悪な企業のこと。IT 企業、外食、小売り、介護業界などの新興企業に多く、有名無名に関係なく存在する。
特徴としては、大量採用・大量離職。
新しい違法行為の類型ではないので、「違法かどうか」では、新しい現象としてとらえることが難しいのがブラック企業である。

特徴と定義を知ること、「判断」の可能性が広がっていく
→「見分け方」(犯人捜し)ではなく、この言葉の背景を押させることが重要

ブラック企業の管理手法と特徴

選別型	IT 企業に多く見られる：IT 業界では、秋採用を行っていることも特徴。必要以上に採用し、選別する。辞めさせるための専門部署を用意し、心理学的手法を用いて新卒を鬱病にし、「自己都合退職」へ追い込む。正社員として採用しておきながら「予選」などと称して、長時間労働を強いて、耐えるものだけを残す企業もある。1000 人規模で毎年 200 人採用し、1 年目に半分以上辞めさせた例も。
使い捨て型	低賃金・長時間労働。固定残業代が特徴である。 ある企業では、「基本給」に 80 時間分の残業代を含みこませていたが、これを採用後まで明らかにせず、その結果、過労死を引き起こし、経営者の責任まで言及されている。IT、小売、飲食などに広く普及している。
無秩序	パワーハラスメント、セクシャルハラスメントの増大。会社も、「代わりはいくらでもいる」と軽視しているので、積極的に上司をいさめようとしない。

ブラック企業経営者はこうした管理についてどのような発言をしているかというところ

・鬱も過労自殺も、労務管理に問題はない・利益を出さないうちは、人間以下、くずである。など

ブラック企業の弊害

・鬱病の蔓延と医療費の増加・少子化と市場の縮小、税収の減少

長時間労働、鬱病の増加によって、結婚、出産ができない。少子化は、これをさらに長期的な問題にする。さらに国内消費を縮小させる→政府もこれに危機感を持ち昨年 9 月に集中対策を行った。

・労使関係の信頼喪失と育成困難

善良な企業、教えようとする企業の育成も、信じられなくなる。

→ブラック企業は、「はじめから使いつぶす労務管理」なので、関係ない。

現状を知り、戦略的思考への意識転換を

今、日本の「企業を信頼する文化」が揺らいでいる。

若者が働かなくなったわけではない。精神的に弱くなったわけでもない。

景気動向の問題でもなく、通常管理手法となって、正社員でも 5 割クビが当たり前となり、正社員で真面目にやっていたら何とかなる！は無いです!!

「使い潰す企業」が社会にあることを前提に、戦略的に行動すべき。社会全体が行動する時に来ている。

これは、消費者詐欺を警戒するのと同じく、「社会人としてのスキル」である

見抜く力をつける

働き続けることができない、「使い潰す企業」を見抜くこと。

- ・客観的なデータを見る。離職率、勤続年数、採用割合、創業年、創業者、平均残業時間、給与の上昇、女性の比率等。
- ・説明会での煽り、過剰なアピール、記載があいまい、話が変わるなどは要注意。
- ・大学のキャリアセンターで直接聞くことも大事。

社会人としての常識・身を守るスキルを身につける

・法律の活用は社会人としてのマナー

「見分けられなかったら自己責任」ではない。

- ・法律を使って、自分自身のキャリアを守ることも、大切な社会人としての「能力」
- ・賃金支払い4原則（全額、直接、通貨、月一回）：大切なことは、天引きなどできないことと、「能力がないから」「おわらないから」「ノルマだから」「自分が成長するためだから」等の「理由付け」は、法律上はまったく無意味であるということ。

→労働基準監督署による取り締まり（ただし、従わない場合もある）

→裁判、団体交渉による請求が可能

→転職に際して請求することも可能（時効は二年間）

*時に数百万円、数千万円になることも

勤務記録をつける。

治療費が無料になることも！

専門家に早めの相談！

相談窓口は控えておこう

検索

→ブラック企業対策プロジェクト『ブラック企業の見分け方（PDF）』

*無料でダウンロードできます <http://bktp.org/>

第2部 ワールドカフェで語り合おう

学習会のテーマとしている「貧困と格差」について、それぞれが考え語り合う場づくりを行いました。



ファシリテーターの中村紀子さん

ROUND1. 今野さんの講演を聞いての感想や、身近に聞いたことがある話からブラック企業かも？！と思った事例を出し合いました。

一般マスコミからの情報のみの知識しか持っていなかった。深い話が聞けて良かった。

自分が働いていた頃と、息子が働いている「今」が全く違うことにショックを受けた。

娘が働いていた企業がブラックでした。1年で辞めさせました

若者の問題とせず、日本の社会全体の問題としてみんなで変えていくべき。



ROUND2. ROUND3. 多くの参加者と語り合うために、席替えをしながら「貧困・格差とは何か？」をテーマに、自分が考えていることや、思っていること、他の人の話を聞いて感じたことなどを率直に模造紙に書き出し、語り合いました。



人間らしい生活ができない。家族の連携が無い。尊重が無い。満足な教育が受けられない。

地域が孤立化、個人が孤立化する。

人間も機械も同じ扱い。人格否定。持ってる人はより強く、持っていない人はより弱く。

私腹！ 一億以上の資産を持っている人の税のあり方を考えるべき。

など、など

話し合いから出てきたキーワード

- ・労働法の理解が必要
- ・情報の発信、受信。それをどう判断するか
- ・価値観の貧しさ。貧困は個人の責任ではない
- ・ブラック化の原因は雇用の減少？再分配のあり方か？
- ・教育格差、基本的人権
- ・家庭、地域学校の教育
- ・社会制度の充実

など、グループごとに出されたキーワードを共有しました。